



那覇市水道事業管理者
仲間 英三

発刊にあたって

水道は、市民の快適な暮らしや産業等の諸都市活動を支える大切な施設です。

この水道が、本市で産声をあげたのが昭和八年のことで、以来六十年余の歳月を積み重ねてまいりました。

この間、戦災による壊滅的な打撃を受け、その中で辛うじて戦禍を免れた一部の施設や泊浄水場等を活用し再開を図ることを足掛かりに、今日では市内全域隈なく水道が整備され、給水人口約三十万人、普及率九九・九％を達成いたしました。

しかし、将来とも安定した安心できる美味しい水道水を供給するためには、クリアーすべき課題が山積しております。

漏水防止等のため老朽化した水

道管等を更新すること、新たな需要に應える施設の建設、さらに濁水や災害時でも飲料水はもとより生活維持のため水を供給するライフラインとしての使命を全うできる施設能力を確保すること等々です。

これらの事業を進めるための資金は、国庫補助金、企業債（借入金）となっておりませんが、借入金の支払いには水道使用者に収めていただいている水道料金を充てることとなります。

また、浄水の購入、給水のための費用、諸経費も料金で賄われています。

水道局はこれらの経費節減に努め、水道使用者の負担をできるだけ軽くするために、事務の能率的な執行と事業運営の効率化を推進しており、併せて一層の給水サービスの向上を図ってまいります。

創刊にあたっては、水道についての情報をできるだけ多く提供し、水道使用者とのコミュニケーションを密にすることにより、本誌を市民参加による事業運営と快適な水道づくりに役立てるよう心掛けてまいります。

市民各位のご指導ご支援を心からお願いいたします。

水道局組織機構図

水道事業管理者

水道部長

水道部次長

